

川

暑い夏は、川で涼むと気持ち良いですよ。爽やかさだけではなく、様々な顔を見せる川をお楽しみください。

※こちらで紹介した資料は、今号配布期間中「ぷらっつ☆篠崎コーナー」に展示しています。



百曲がりの河童 (『読んであげたい おはなし 上』所収)

松谷 みよ子著
筑摩書房
B388マ1
篠崎ほか所蔵

むかし。百曲がりというくねくねと曲がった川があった。じいさまが百あるか数えようとしたら、泣いている河童と出会う。川の曲がりかどに、一匹ずつ河童がいるはずなのに、99匹しかいないというので、一緒に数えることにしたじいさま。その結末に心がほっこりします。



写真で愉しむ東京 「水流」地形散歩

小林 紀晴著
集英社
454コ
篠崎ほか所蔵

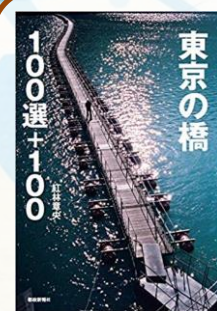
東京の何気ない風景が、この本を通して見ると昭和の、果ては一万年前の景色に変わる！ 古地図を駆使した想像を掻き立てる解説と、ふんだんに掲載された写真を追ううちに水流の世界にどっぷり。水流でこんなにわくわくするなんてと、読んだらきっと驚きます。



水の都東京の 歴史散歩

中江 克己著
青春出版社
517ナ
篠崎ほか所蔵

東京が水の都となったのは、徳川家康が江戸の水路を整備してからです。「神田川と江戸城外堀」、「渡し船でいく佃島」など水や川にまつわる興味深いエピソードを地図や写真とともに楽しみいただけます。現在の水路沿いを歩きながら江戸の歴史に思いを馳せてみると感慨深いものがあるかもしれません。



東京の橋100選 +100

紅林 章央著
都政新報社
515ク
篠崎ほか所蔵

東京の川に架かる五千数百もの橋から百橋を厳選、写真と共に歴史や特徴を紹介しています。ドイツ表現主義の傑作「厩橋」、世界でたった一つだけの構造の橋「葛西橋」など実際に見て確かめたい情報満載。本を片手にお気に入りの橋を見つけに出かけてみてはいかがでしょうか。



深い河 (ディープ・リバー)

遠藤 周作著
講談社
BFエ
篠崎ほか所蔵

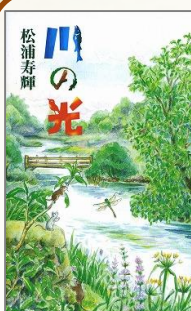
人々の不浄なものを洗い流し、死をも受け入れてくれる、聖なる河ガンジス。失ったものへの愛や、人生の意味を求めてインドのこの地を訪れた者たち。混沌とした中で苦しみながらも、ガンジスの懷に抱かれるように、彼らはそれぞれの心の安らぎをつかんでいく——。遠藤周作の集大成ともいえる作品。



三途の川で落しもの

西條 奈加著
幻冬舎
Fサ
篠崎ほか所蔵

小学校6年生の叶人は意識不明で入院中、魂になって三途の川に辿り着いた。思い残すことはないものの、生者の彼はある条件を満たさないと彼岸に渡れないという。輪廻転生から外れた江戸時代の男2人と共に、死者を黄泉の国へ送る渡し守の仕事を任せられ——。



川の光

松浦 寿輝著
中央公論新社
Fマ
篠崎ほか所蔵

突然の工事で川辺の巣を追われた3匹のネズミ父子は、安住の地を求め旅に出る。立ちはだかるドブネズミ帝国など多くの苦難に見舞われながらも、幸運と友情に恵まれて旅は続いていく。小さなネズミの姿を通して生きる喜びや自由について語りかけてくる冒険物語。



泥の河 蜷川 道頓堀川

宮本 輝著
筑摩書房
BFミ
篠崎ほか所蔵

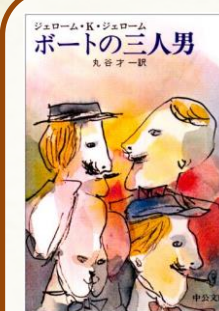
宮本輝の川三部作に出てくる川は、平成以降の治水工事が進んだ澄んだ川ではなく、昭和の汚れた淀んだ川だ。川沿いの街で繰り広げられる人間模様もドロドロと淀んで哀しい。濁流に翻弄されながらも読む手が止まらない、そんな作品たちである。



鬼 (『さむらい行儀・ 無宿人国記』所収)

吉川 英治著
学研
BFヨ
篠崎所蔵

ある事件で失態を犯した津軽藩士・棟形与右衛門。汚名を返上するため困難な治水事業に名乗りをあげるが、自然の暴威により遅々として進まない。意を決した彼は鬼となり、村人を叱咤して作業を進める。ついに事業が完遂した日、思わぬ行動に出る——。与右衛門の覚悟に心が打たれました。



ボートの三人男

ジェローム・K・
ジェローム著
丸谷 才一訳
中央公論社
B933シ
篠崎所蔵

日々の疲れを癒す為、ボートでテムズ河に繰り出す三人の男と犬一匹。優雅な旅になるはずが——。数々のオマージュ作品を生み、広く世界で愛読されているイギリスユーモア小説の古典。皮肉たっぷりなのにクスッと笑ってしまう。上質なジョークを堪能できます。